

ひだまり



宮城県立がんセンターボランティア「ひだまり」平成19年10月15日 発行
編集責任者 「ひだまり」編集委員会

「ひだまり」の活動によせて

この野田山にも秋の気配が感じられるようになり、ボランティアの活躍の場が広がっています。今年創立七周年を迎え、今年度の活動内容を振り返ると、今年度は、ボランティアの活動が、患者さんにとって、大きな役割を果たしています。今年度は、ボランティアの活動が、患者さんにとって、大きな役割を果たしています。今年度は、ボランティアの活動が、患者さんにとって、大きな役割を果たしています。

「ひだまり」の活動によせて

がんセンター事務局長 北 廣信

特集 ～体験ボランティアについて～

私たち「ボランティアひだまり」は、平成12年から活動してきました。

今回は、これらの活動を理解し医療をめざす学生の方がたに、病院ボランティアを知っていただくため、体験ボランティアを募集しました。

7月23日～7月31日は一般・高校生・15名、8月8日～8月10日は宮城大学生・38名の方がたがボランティア活動を体験されました。

その結果のアンケートやまとめを報告いたします。

体験ボランティア 活動日誌から

○月○日

移動図書としおり作りを行ないました。移動図書では患者さんと少しお話をし、雰囲気を感じることができました。

また、しおり作りでは、作ったしおりが誰の手に渡るかわかりませんが、よろこぶ顔を想像しながら自分なりに頑張っていました。(斎藤)

○月○日

受付案内では、聞かれても分からないことがあり、とまどいましたが、あいさつを笑顔で返してくれた患者さんが多く、明るい気持ちになりました。

(佐藤)

○月○日

以前、医療にはボランティアが深く関わることを知り、とても驚きでした。今回、自分自身がボランティアを体験して、とても重要な役割なのだ実感しました。

今回だけで終わらせるのではなく、これからもかかわっていききたいと思います。(須田)

○月○日

今日は緩和ケア病棟に行き、患者さんに昔ばなしの朗読をしました。

患者さんがうなずいて聞いてくださっている姿が、とてもうれしかったです。短い時間でしたが、充実した時を過ごすことができました。(菌部)



お知らせ

1階外来にボランティア募金箱を設置いたしました。ボランティア活動費の一部として、使用いたしますのでご協力をお願いいたします。

